

流れる水のはたらき (3)

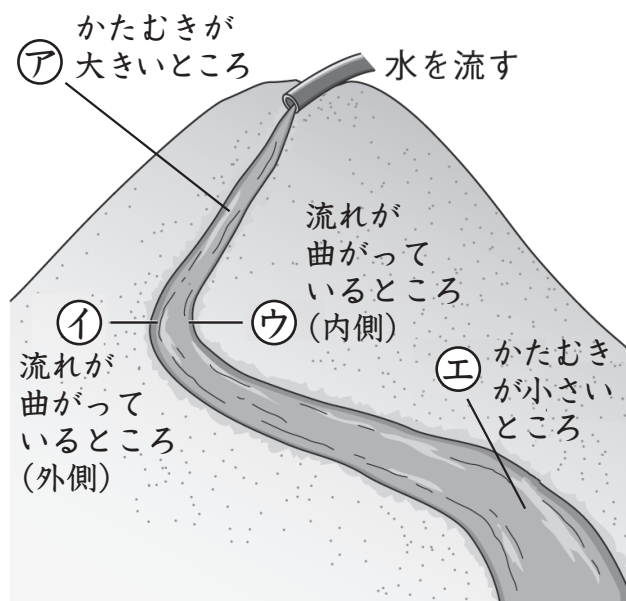
名前

1 次の(1)～(2)の文は、流れる水のはたらきについて説明しています。()の中の正しいほうの言葉を○でかこみましょう。

(1) 流れる水が地面をけずるはたらきを (しん食^{しよく}・たい積^{せき}) といい、土や石を運ぶはたらきを (しん食・運ぱん) という。また、流されてきた土や石を積もらせるはたらきを (運ぱん・たい積) という。

(2) 土地のかたむきが大きいところでは、しん食や (たい積・運ぱん) のはたらきが大きく、土地のかたむきが小さいところでは、(たい積・しん食) のはたらきが大きくなる。

2 右の図のように、土でつくった山にみぞをつけ、上から水を流して流れる水のはたらきを調べる実験をしました。ただしみぞは、かたむきが大きいところ、かたむきが小さいところ、流れが曲がっているところがあるようにつけました。次の問いに答えましょう。



(1) 次の①～④の文は、右の図の(ア)～(エ)を流れる水のはたらきのようすについて説明しています。右の図のどこにあてはまるか(ア)～(エ)から選び、それぞれの()に記号を書きましょう。

- ① () 水の流れがゆるやかで、たい積するはたらきが大きく、運ばれてきた土がたまる。
- ② () 流れが曲がっているところで、水の流れが速いために、しん食するはたらきと運ぱんするはたらきが大きい。
- ③ () 流れが曲がっているところで、水の流れがおそいために、たい積するはたらきが大きい。
- ④ () 水の流れが速く、しん食するはたらきと運ぱんするはたらきが大きいために、みぞが深くなる。